



第50回RAC地区大会 開催報告

国際ロータリー第2510地区 ローターアクト委員会

委員長

高橋 耕
(札幌幌南RC)

去る6月24日に室蘭市のアパホテルにて、第50回ローターアクト地区大会が開催されましたので、ご報告いたします。

今年度の地区大会は地区代表の小椋くんを輩出した室蘭北RACのホストによって、実行委員長の小倉さんを中心に、数年ぶりの現地開催となりました。本来、地区大会は年齢制限を迎えたローターアクトの卒業式を兼ねての開催ですが、今年度は卒業するものがありませんでした。数年ぶりの現地開催と卒業生のいない地区大会となりましたことで、どのような大会になるのか不安と期待の気持ちをもって参加いたしました。



いざ現地に到着すると約50名（登録139名）の参加があり、多数のローターアクト、ロータリアン、他地区のローターアクトが集合し、オンラインでは感じにくい迫力がある会場となりました。また、青山剛室蘭市長にもご参加いただき、日ごろのローターアクトの奉仕活動に対して感謝の言葉をいただくとともに、若者へのさらなる期待をこめた祝辞を頂戴いたしました。当日石丸ガバナーは日程の都合上参加できませんでしたが、ビデオメッセージを頂きアクト現状やこれからのアクトに対するさらなる期待をこめた祝辞を頂きました。御参加、御登録をいただいた皆様には、この場を借りて御礼申し上げます。

メインプログラムはものづくり、製鉄のまち室蘭を知っていただくことをテーマに構成され、製鉄所に勤務する小椋地区代表より室蘭の製鉄の歴史の紹介がありました。その後、スズやビスマスを含有した低融点の金属を使用した鋳造の実演体験が行われました。ロータリーのシンボルである歯車のマークの鋳型に溶かした金属を流し込み、歯車のマークの鋳造体ができあがると会場からどよめきの歓声が起こり、鋳造が無事に成功した室蘭北RACのメンバーからは、安堵の笑顔がこぼれていたのは印象深かったです。当日に鋳造したものと、アクトが事前に鋳造していたものを、現地参加者がグループに分かれて紙やすりで研磨する体験もあり、コロナ禍ではできなかったプログラムを通して、これから活動の制限がなく本来のRACの活動が再開されていくのだなと実感した次第です。

懇親会の初めには、地元の和太鼓の演奏もあり、室蘭北RACの地元根付いた活動や参加者を飽きさせないような工夫が感じられました。パーティーのない懇親会では、アクトとロータリアンがグラス片手に談笑するシーンが方々でみられ、本来のRAC地区大会の風景がもどり、全体を通して充実の地区大会だったのではないのでしょうか。

この地区大会の開催にあたり、地区代表小椋くんをはじめ室蘭北RACの皆様は本当にお疲れ様でした。ご参加された皆様や開催においてサポートしていただいた室蘭北RCの皆様には御礼申し上げます。

